

★★令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施計画

(単位:千円)

都道府県名		北海道		電話番号	0124-27-7061		第一次配分額	109,863		第一次交付限度額	109,863																													
地方公共団体名		芦別市		メールアドレス	kikaku@city.ashibetsu.lg.jp		第二次配分額	370,916		第二次交付限度額	370,916																													
都道府県・市町村コード(5桁)		01216		交付対象経費	638,659		第三次配分予定額 (本省繰越希望額を除く)	119,864		第三次交付限度額(地方単独分)	168,444																													
担当部署課名		総務部企画政策課		国庫補助事業費	114,063		本省繰越予定額	168,444		第三次交付限度額(補助裏分)	119,864																													
担当者氏名		齋藤浩貴		地方単独事業費	524,596		配分予定額計	600,643		第三次交付限度額のうち 本省繰越希望額 (第三次地単分+法定事業費以内)	168,444																													
							移替先	総務省		交付限度額計	769,087																													
No.	確認済 事業	補助 単 独	事例 集 事 例 番 号	交付対象事 業の名称	所 管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要 請協力金	②事業者 への給付 金	③事業者 への家賃 支援	特定事業 者等支援	個人を対 象とした 給付金等	基金	経済対策と の関係	交付対象事業 の区分 (地域未来構 想20との該当 関係)	事業 始期	事業 終期	A						参考資料	備考① (地方単独事業に關 連している国庫補助 事業がある場合、そ の国庫補助事業名と 所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和 3年3月を超えるこ とが見込まれる場 合、その事情)	予算区分														
																	総事業費	B 補助対 象事業 費	C 国庫補 助額	D 交付対 象経 費	E 起債予 定額	F その他					G 補助対 象外経 費													
合計																	1,089,627	427,681	142,560	638,659	164,200	7,858	136,350																	
1	○	単	38	公共施設等 感染防止対 策事業		①公共施設等における感染防止対策として必要な環境整備 ②i マスク、消毒液等の購入、ii 小中学校における牛乳パックのごみ処理手数料、iii 子育て施設における次亜塩素酸噴霧器の借上料、iv その他備品購入費 ③参考資料のとおり(i マスク、消毒液、クリアパーテーション等の購入13,199千円、ii 小中学校における牛乳パックのごみ処理手数料87千円、iii 子育て施設における次亜塩素酸噴霧器の借上料813千円、iv その他備品購入費(図書消毒器、非常用トイレ、加湿器等)2,692千円計16,791千円) ④市役所	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク、消毒液等の確保	⑦いずれも該当しない	R2.5	R3.3	16,791				15,791	-	1,000		「芦別市積算根拠NO.1」参照			R2補正 (地)												
2	○	単	12	公共的空間 安全・安心確 保事業		①サーモグラフィカメラの配置による感染防止対策、体表温度チェッカーで発熱者の早期発見を行う ②赤外線サーモグラフィ購入 ③参考資料のとおり(181,000円×3台=543,000円) ④-	-	-	-	-	-	-	I-2. 検査体制の強化と感染の早期発見	⑦いずれも該当しない	R2.5	R3.3	543				543	-	-		「芦別市積算根拠NO.2」参照			R2補正 (地)												
3	○	単	-	総合行政情 報システムリ モート保守環 境整備		①感染防止のために総合行政情報システムの保守業務について、システム保守事業者が来庁せずに対応可能となるリモート保守の環境整備に伴う委託料 ②リモート保守環境導入費用(機器、SE工数、回線費用) ③参考資料のとおり(機器及びSE工数1,020千円、回線費用232千円 計1,252千円) ④システム保守事業者	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	④行政IT化	R2.5	R3.3	1,252				1,252	-	-		「芦別市積算根拠NO.3」参照			R2補正 (地)												
4		単	-	緊急経営支 援金		①休業要請等に応じた事業者並びに厳しい経営を余儀なくされている事業者に対する支援 ②i 休業要請に応じた法人20万円、ii 休業要請に応じた個人事業主20万円、iii 午後7時以降の酒類提供を自粛した飲食店20万円、iv i～iii以外の飲食店10万円、市内の小売店10万円、その他の業種10万円、厳しい経営を余儀なくされている市内事業者に対し20万円又は10万円を支給 ③内訳(見込) i 休業要請に応じた法人 件数9×200千円=1,800千円 ii 休業要請に応じた個人事業主 件数39×200千円=7,800千円 iii 午後7時以降の酒類提供を自粛した飲食店 件数36×200千円=7,200千円 上記以外の飲食店 件数10×100千円=1,600千円 その他厳しい経営を余儀なくされている市内事業者 件数146×100千円=14,600千円 合計33,000千円 ④市内事業者等	○	○	-	-	-	-	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.5	R3.3	33,000				33,000	-	-		「芦別市積算根拠NO.4」参照			R2補正 (地)												

No.	確認済み事業	補助単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付先を充当する経費内容 ③算定根拠(対象者・単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分(地域未構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	A						参考資料	備考①(地方単独事業に關連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考②(事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分		
																	総事業費	B									補助対象外経費	
																		補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他						
5		単	-	芦別市中小企業等振興臨時給付金		①売上額が減少している事業者に給付金を支給することにより、事業の継続と安定を図る ②個人事業主10万円、法人20万円を支給 ⅰ(平成30年12月31日までに開業した場合(農林漁業を除く)令和2年1月1日から令和2年12月31日までのいずれかひと月分の売上額と、前年同月の売上額を比較して、その額が20%以上50%未満減少しており、かつ、その月の売上額が、法人4万円以上、個人2万円以上の減少となっているもの ⅱ(平成31年1月1日から令和2年5月31日までに開業した場合(農林漁業を除く)開業月の翌月から申請月の前月までの任意の連続する3か月の月平均売上額と令和2年1月1日から12月31日までの間で最も売上が少ない月の売上額を比較して、その額が20%以上50%未満減少しており、かつ、その月の売上額が、法人4万円以上、個人事業者2万円以上の減少となっているもの ⅲ(農林業者の場合)令和2年1月1日から12月31日までの売上額の合計額と前年同期間の売上額の合計額を比較して、その額が20%以上50%未満減少しているもの ③個人37件×100千円=3,700千円、法人34件×200千円=6,800千円 計10,500千円 ④市内事業者(個人又は法人)	-	○	-	-	-	-	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.5	R3.3	10,500			10,500	-	-		「芦別市積算根拠NO.5」参照			R2補正(地)	
6		○	単	-	雇用調整助成金の申請に係る支援	①雇用調整助成金の申請書類の作成が困難な事業者を支援するため、社会保険労務士等に依頼した場合の費用を助成 ②社会保険労務士等に対する依頼費用 ③事務手数料 上限50千円×20件=1,000千円 ④雇用調整助成金を申請する者	-	-	-	-	-	-	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.5	R3.3	1,000			1,000	-	-		「芦別市積算根拠NO.6」参照			R2補正(地)	
7		○	単	-	水道料金減免による緊急経営支援による負担金	①水道事業会計が市内事業者等への緊急経営支援として水道料金の業務用1種、2種及び3種の水道料金を減免することに対する同会計への負担金 ②水道事業会計に繰り出し、ⅰ業務用1種及び2種の基本料金の半額免除、ⅱ業務用3種の基本料金の全額免除に係る費用を交付対象経費とする ③参考資料のとおり(上水道料金2,616,020円×3か月分=7,849千円) ④-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.5	R3.3	7,849			7,849	-	-		「芦別市積算根拠NO.7」参照			R2補正(地)	
8		○	単	-	下水道料金減免による緊急経営支援に伴う繰出金	①下水道事業特別会計が市内事業者等への緊急経営支援として下水道料金を減免することに対する同会計への繰出金 ②下水道事業特別会計に繰り出し、ⅰ水道料金における業務用1種及び2種基本料金の半額免除、ⅱ水道料金における業務用3種の基本料金の全額免除に要する費用を交付対象経費とする ③参考資料のとおり(下水道料金1,057,020円×3か月分=3,172千円) ④-	-	-	-	-	-	-	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.5	R3.3	3,172			3,172	-	-		「芦別市積算根拠NO.7」参照			R2補正(地)	
9		○	単	-	クーポン券発行事業	①「緊急事態宣言」解除後の市内飲食店等の集客対策として行うクーポン券の発行 ②クーポン券換金費用、事務費 ③参考資料のとおり(クーポン券換金費用1,000円分×500セット=500千円、クーポン券印刷製本費及び換金手数料500千円 計1,000千円) ④地域限定商品券の利用可能店舗のうち、飲食店、タクシー、旅行代理店等	-	-	-	-	-	-	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑩商品券・旅行券	R2.5	R3.3	1,000			1,000	-	-		「芦別市積算根拠NO.8」参照			R2補正(地)	
10		○	単	-	食べたり・買ったりとんぐり商品券配布事業	①外出自粛やイベント中止などが相次ぐ中、休業による減収や大幅な売上低迷により厳しい環境にある飲食店、タクシー業、観光関連業の底上げを図るため商品券を配布 ②ⅰ18歳未満の子どもに対し1人5,000円の商品券を配布 ⅱひとり親世帯に対し5,000円分の商品券を配布 ③内訳 ■商品券:6500千円 18歳未満の子ども 対象者1180人×5000円=5900千円 ひとり親世帯 対象者120世帯×5000円=600千円 ■印刷製本費:237千円 印刷単価@165.4円×1300枚×1.1≒237千円 ■通信運搬費:598千円 ■委託料:130千円 ■参考資料のとおり(商品券代金6,500千円、事務費(印刷製品費、通信運搬費等)965千円 計7,465千円) ④18歳未満の子ども、ひとり親世帯	-	-	-	-	-	-	-	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑩商品券・旅行券	R2.5	R3.3	7,465			7,465	-	-		「芦別市積算根拠NO.9」参照			R2補正(地)
11		○	単	-	芦別で泊まろう!食べよう!キャンペーン	①市内の旅館又はホテルを宿泊利用する方に、宿泊割引として利用できる宿泊クーポン券と、市内で食事ができるクーポン券を配布 ②クーポン券換金費用、事務費 ③クーポン券利用代4000円×1000枚=4000千円、クーポン券印刷等事務費300千円 計4,300千円 ④市内の旅館又はホテルを宿泊利用する方	-	-	-	-	-	-	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑩商品券・旅行券	R2.5	R3.3	4,300			4,300	-	-		「芦別市積算根拠NO.10」参照			R2補正(地)	

No.	確認済事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付を充当する経費内容 ③種別・種別(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	A						参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分			
																	総事業費	B									補助対象外経費		
																		補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他							
12	○	単	89	魅力発見モニターツアー単行業務委託		①観光入込客数は著しい落ち込みにより、早期の観光復興が喫緊の課題であるため、本市の観光資源を活用したモニターツアーを実施し、モニターからの評価を検証し、今後の観光客の増加を図る ②モニターツアー実施費用 ③参考資料のとおり(モニターツアー実施費用(バス借上料、施設利用料他)500千円×4回分=2,000千円) ④旅行代理店	-	-	-	-	-	-	III-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑬新たな旅行	R2.5	R3.3	2,000			2,000	-	-		「芦別市積算根拠NO.11」参照			R2補正(地)		
13	○	単	-	求人・求職・短期就労マッチング情報サイト作成業務委託		①短期就労業務の紹介や求職者へのメール通知機能の追加などによる新型コロナウイルス感染症対策においても活用できる求人情報サイトの作成業務委託 ②求人情報サイト作成業務委託料 ③サイト構築5,330千円、初期情報設定495千円 計5,825千円 ④システム業者	-	-	-	-	-	-	II-1. 雇用の維持	④行政IT化	R2.8	R3.3	5,825			5,825	-	-		「芦別市積算根拠NO.12」参照			R2補正(地)		
14		単	-	水道料金減免による緊急経営支援による負担金(追加支援分(2回目))		①水道事業会計が市内事業者等への緊急経営支援として水道料金の業務用1種、2種及び3種の水道料金を減免することに対する同会計への負担金(事業番号7に係る追加支援) ②水道事業会計に繰り出し、i 業務用1種及び2種の基本料金の半額免除、ii 業務用3種の基本料金の全額免除に係る費用を交付対象経費とする ③参考資料のとおり(業務1種@107,525円×7件=752,675円、業務2種@43,010円×8件=344,080円、業務3種 基本料内@3,795円×252件=956,340円、基本料超過@3,795円×149件=554,070円、半額該当@1,897円×10件=18,970円 計2,626,135円×5か月分=13,131千円) ④市内事業者等	-	-	-	-	-	-	-	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.8	R3.3	13,131			13,131	-	-		「芦別市積算根拠NO.13」参照			R2補正(地)	
15		単	-	下水道料金減免による緊急経営支援に伴う繰出金(追加支援分(2回目))		①下水道事業特別会計が市内事業者等への緊急経営支援として下水道料金を減免することに対する同会計への繰出金(事業番号8に係る追加支援) ②下水道事業特別会計に繰り出し、i 下水道料金における業務用1種及び2種基本料金の半額免除、ii 下水道料金における業務用3種の基本料金の全額免除に要する費用を交付対象経費とする ③参考資料のとおり(業務1種@2,230円×4件=8,920円、業務2種@2,230円×6件=13,380円、業務3種 基本料内@4,460円×135件=602,100円、基本料超過@4,460円×101件=450,460円、半額該当@2,230円×5件=11,150円 計1,086,010円×5か月分=5,431千円) ④市内事業者等	-	-	-	-	-	-	-	-	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.8	R3.3	5,431			5,431	-	-		「芦別市積算根拠NO.13」参照			R2補正(地)
16	○	単	76	ワーケーション、テレワーク実施企業に対する補助		①新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、首都圏等に事業所を有する市内企業が、本市においてワーケーション、テレワークを実施する際に、従業員の旅費等の一部を支援 ②首都圏等から本市までの旅費等に対する補助金 ③100千円(上限)/1人×10人分=1,000千円 ④市内事業所	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタル・トランスフォーメーションの加速	⑬リビングシフト	R2.8	R3.3	1,000			1,000	-	-					R2補正(地)	
17	○	単	-	市民生活応援商品券発行事業		①緊急事態宣言が解除となり経済活動が再開したものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が収束しないことから、秋から年末にかけて消費喚起及び市民生活の支援として商品券を配布 ②市民に対し、市内商店等で利用できる飲食券500円券を10枚(5,000円分)、一般商品券500円券を10枚(5,000円分)配布 ③商品券10千円×12,952人=129,520千円、印刷費1,501千円、通信運搬費3,917千円、換金手数料1,295千円 計136,233千円 ④9月1日現在で住民基本台帳に登録されている市民	-	-	-	-	-	-	-	-	III-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑬商品券・旅行券	R2.8	R3.3	136,233			136,233	-	-		「芦別市積算根拠NO.14」参照			R2補正(地)
18	○	単	-	芦別温泉星遊館利用促進事業		①緊急事態宣言が解除となり経済活動が再開したものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が収束しないことから、利用が低迷している芦別温泉星遊館の市民利用を高め、今後の集客回復を図る ②市民に対し、芦別温泉星遊館入館券を5枚配布 ③大人500円×6,825人(入館見込み数)=17,312千円、子ども250円×5枚×222人(入館見込み数)=277千円、印刷費366千円、通信運搬費806千円 計18,761千円 ④9月1日現在で住民基本台帳に登録された市民	-	-	-	-	-	-	-	-	III-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑬商品券・旅行券	R2.8	R3.3	18,761			18,761	-	-					R2補正(地)

No.	確認済み事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充てる経費内容 ③積算根拠(対象・単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	A						参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分	
																	総事業費	B		E	F	G					
																		補助対象事業費	C								D
19	○	単	-	医療・福祉・介護・児童施設事業者支援事業		①新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抱えながら、継続して医療・福祉・介護・児童関連サービスを提供している市内の事業者に対して、事業種類及び職員数により支援金を支給 ②医療・歯科・薬局・障がい・介護福祉・居宅介護・児童関連事業所を運営する事業者(職員数100人以上→医療・介護福祉事業者100万円、職員数50人～99人以下→障がい・介護福祉事業者50万円、職員数10人～49人以下→医療・障がい・介護福祉・居宅介護・児童事業者30万円、薬局事業者20万円、職員数10人未満→歯科・介護福祉・居宅介護事業者20万円、薬局・障がい・児童事業者10万円 ③医療機関1,900千円、歯科1,600千円、薬局700千円、障がい者施設1,300千円、介護福祉施設2,800千円、居宅介護支援事業所1,300千円、児童福祉施設500千円 計10,100千円 ④医療・福祉・介護・児童関連事業所	-	○	-	-	-	-	II-1. 雇用の維持	⑦いずれも該当しない	R2.9	R3.3	10,100			10,100	-	-		「芦別市積算根拠NO.15」参照		R2補正(地)	
20	○	単	106	新生児対応特別給付金事業		①新型コロナウイルス感染症対策に係る国の特別定額給付金の基準日に際し生まれた新生児に対し、子育て支援として1人あたり10万円を支給 ②令和2年4月28日から令和3年3月31日まで出生した者 ③令和2年4月28日から7月29日までの出生数 8人、7月30日から令和3年2月28日までの出生予定 31人、令和3年3月までの出生予定5人 計44名×100千円=4,400千円 ④市民(新生児)	-	-	-	-	-	-	II-4. 生活に困っている世帯や個人への支援	⑦いずれも該当しない	R2.9	R3.3	4,400			4,400	-	-			R2補正(地)		
21	○	単	-	学校給食用食材納入事業者支援事業		①新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により長期にわたり学校の臨時休業を受け、食材の発注取消等で影響を受けた学校給食用食材納入事業者の事業継続を支援するため支援金を支給 ②パン・米飯加工委託事業者及び食材納入事業者に対する支援金(令和2年4月以降の臨時休業期間、分散登校により学校給食を再開した期間(4月20日～5月15日)を除く) ③パン・米飯加工委託事業者分463千円(基本加工賃と特別加工料の合計に発注取消となった食数乗じた金額)、食材納入事業者分234千円(発注取消となった商品の食材納入経費分として、商品代金の30%) 計697千円 ④学校給食用食材納入事業者	-	○	-	-	-	-	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.9	R3.3	697			697	-	-		「芦別市積算根拠NO.16」参照		R2補正(地)	
22	○	単	-	全自動紙折機購入事業		①新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各種支援策に関する対象者への案内や市民周知用文書の発送業務が増大していることから、全自動紙折機を購入し事務の効率化を図る ②備品購入経費 ③ライオン全自動紙折機1台(LF-S670) @426,800円×1台=427千円、搬入設置費30千円、消費税46千円 計503千円 ④市役所	-	-	-	-	-	-	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.9	R3.3	503			503	-	-		「芦別市積算根拠NO.17」参照		R2補正(地)	
23	○	単	-	Web会議ツールの環境整備事業		①新型コロナウイルス感染症対策として、会議等における3密を避けるため、Web会議ツール「Zoom Meeting」JP ROバージョンを導入する ②Web会議に必要な庁用器材等の購入に係る備品購入費 ③PC5台1,670千円、ZoomProLicense165千円、マイクホン20千円、プロジェクター110千円、スクリーン20千円、ウイルスライセンス74千円、消費税206千円 計2,265千円 ④システム業者	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	④行政IT化	R2.9	R3.3	2,265			2,265	-	-		「芦別市積算根拠NO.18」参照		R2補正(地)	
24	○	単	-	情報セキュリティ対策遠隔保守ツール導入業務委託		①新型コロナウイルス感染症対策として、職員同士の接触機会を減らすため、職員用パソコンのトラブル対応を遠隔操作するツールを導入する ②職員用パソコンのトラブル対応を遠隔で操作するツールの導入業務に係る委託経費 ③AssetViewライセンス502千円、AssetView専用データベースライセンス660千円、導入作業1,650千円 計2,812千円 ④システム業者	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	④行政IT化	R2.9	R3.3	2,812			2,812	-	-		「芦別市積算根拠NO.19」参照		R2補正(地)	
25	○	単	-	救急出動に係る感染防止対策事業		①安定した救急搬送業務を維持するため、救急隊員等をはじめ消防署における感染防止対策を図る ②感染防止資器材及び救急車両汚染防止のための消毒用薬剤等整備 ③KingVision@297,000円×2個=594千円、非接触型体温計@13,200円×11個=145千円、飛沫感染対策パネルSL5000@19,580円×1個=19千円、飛沫感染対策パネルSL3000@10,780円×40個=431千円、消毒液スタンド@21,780円×1個=22千円、オゾンエアリア2台分 607千円、その他消耗品1,083千円 計2,901千円 ④消防署	-	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	⑦いずれも該当しない	R2.9	R3.3	2,901			2,901	-	-		「芦別市積算根拠NO.20」参照		R2補正(地)

No.	確認済み事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③精算根拠(対象者、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	A						参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分						
																	総事業費	B									補助対象外経費					
																		補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他										
26	○	単	36	避難所用ワンタッチパーテーション設置事業		①災害時の避難所において、3密に配慮した避難所の設置を行うため、一定の面積が確保でき、設置が簡単でプライバシーを確保できるテントを整備する ②避難所用ワンタッチパーテーション等の購入 ③ワンタッチパーテーション「ファミリアルーム」@33,400円×100個=3,344千円、ファミリアルーム屋根@10,340円×50個=517千円 計3,861千円 ④市役所	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	⑤防災IT化	R2.9	R3.3	3,861										「芦別市積算根拠NO.21」参照		R2補正(地)			
27	○	単	36	災害対策用簡易テント整備事業		①災害時に避難所が密になった際の一時的避難所や新型コロナウイルス感染症への感染が疑われる患者の屋外検査室等に利用できる簡易テントを整備する ②災害対策用ワンタッチテント等の購入 ③簡易テント@530,640円×10組=5,306千円、加重プレート@9,350円×80個=748千円、運搬費用一式 253千円 計6,307千円 ④市役所	-	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	⑤防災IT化	R2.9	R3.3	6,307			6,307							「芦別市積算根拠NO.21」参照		R2補正(地)		
28	○	単	35	福祉避難所手洗所自動水栓設置事業		①災害時の福祉避難所における新型コロナウイルス感染症感染防止対策として各階の手洗所に自動水栓を設置する ②総合福祉センター自動水栓設置工事費 ③1階部分@56,900円×7か所=398,300円、2階部分@56,900円×5か所=284,500円、3階部分@56,900円×3か所=170,700円 計15か所 854千円、諸経費166千円、消費税102千円 計1,122千円 ④総合福祉センター	-	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	⑤防災IT化	R2.9	R3.3	1,122			1,122							「芦別市積算根拠NO.22」参照		R2補正(地)		
29	○	単	35	市総合庁舎セミセルフレジ導入事業		①市総合庁舎に、セミセルフレジを導入することで、住民票等の交付の際に発生する金銭の受け渡しを無くし、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑える ②市民年金係窓口を設置するセミセルフレジの購入費 ③セミセルフレジ1台分 縦型レジ釣銭機435千円、縦型レジ釣銭機263千円、プロスバーPOS端末365千円、POSソフト145千円、レシートプリンタ102千円、2ndディスプレイ135千円、二次元コードリーダー54千円、設定、設置費85千円、その他消耗品等88千円、消費税168千円 計1,840千円 ④市役所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	④行政IT化	R2.9	R3.3	1,840			1,840							「芦別市積算根拠NO.23」参照		R2補正(地)
30	○	単	22	指定避難所空調設備整備事業		①災害時の指定避難所における新型コロナウイルス感染症対策として換気機能を有しているエアコンを設置する ②本町地区生活館及び啓南多目的研修センターへのエアコン設置工事費 ③本町地区生活館3台分(ルウムエアコン@519,600円×3台=1,559千円、防雪フード@41,600円×3台=125千円、ドレンパンヒーター@28,800円×3台=86千円、消費税177千円 計1,947千円)、啓南多目的研修センター5台分(ルウムエアコン@608,944円×1台=609千円、@746,014円×3台=2,238千円、@791,014円×1台=791千円、防雪フード@41,600円×5台=208千円、ドレンパンヒーター@28,800円×5台=144千円、消費税399千円 計4,389千円) 計6,336千円 ④本町地区生活館及び啓南多目的研修センター	-	-	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.9	R3.3	6,336			6,336							「芦別市積算根拠NO.24」参照		R2補正(地)	
31	○	単	-	共同浴場空気清浄機設置事業		①共同浴場における新型コロナウイルス感染症対策として、菌やウイルスを分解除去できる加湿空気清浄機を設置する ②公衆浴場3か所への加湿空気清浄機設置に係る購入費用 ③深水湯2台分 @43,780円×2台=87,560円、西芦別共同浴場2台分 @51,480円×2台=102,960円、頼城共同浴場2台分 @51,480円×2台=102,960円 計294千円 ④市内共同浴場(深水湯、西芦別共同浴場、頼城共同浴場)	-	-	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.9	R3.3	294			294							「芦別市積算根拠NO.25」参照		R2補正(地)	
32	○	単	22	福祉避難所空調設備整備事業		①災害時の福祉避難所における新型コロナウイルス感染症対策として空調設備を除菌機能を搭載した設備へと更新する ②総合福祉センター空調設備の整備に係る機械器具費 ③総合福祉センター12台分(高暖房ビル用マルチ窓外機@2,570,000円×2台=5,140千円、防雪フード16か所一式663千円、室内機天井カセットラウンドフロ@81,200円×12台=6,974千円、室内機標準パネル@40,800円×12台=490千円、運転リモコン@32,600円×12台=391千円、コントローラー1台42千円、ストリーマーユニット@161,000円×12台=1,932千円、消費税1,563千円 計17,196千円) ④総合福祉センター	-	-	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.9	R3.3	17,196			17,196							「芦別市積算根拠NO.26」参照		R2補正(地)	

No.	確認済み事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充てる経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	A						参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分	
																	総事業費	B									補助対象外経費
																		補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他					
33	○	単	35	子どもセンター手洗所自動水栓等設置事業		①子どもセンター(保育所、子育て支援センター等)における新型コロナウイルス感染症感染防止対策として手洗所に自動水栓と電動ノータッチ式ディスペンサーを設置する ②自動水栓設置工事費、電動ノータッチ式ディスペンサー購入費用 ③自動水栓40か所分(共通仮設費91千円、直接工事費4,954千円(壁付自動水栓@44,900円×46か所=2,066千円、台付自動水栓@88,000円×17か所=1,496千円、壁掛け洗面器@32,800円×9か所=295千円、給水・給湯配管資材一式250千円、消耗品雑材料一式80千円、その他労務費・雑作業費・試験調整費767千円)、現場管理費712千円、一般管理費773千円、消費税653千円 計7,183千円、電動ノータッチ式ディスペンサー@9,525円×40台分=457千円、消費税46千円 計503千円 合計7,686千円 ④子どもセンター	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	⑦いずれも該当しない	R2.9	R3.3	7,686			7,686	-	-		「芦別市積算根拠No.27」参照		R2補正(地)	
34	○	単	22	留守家庭児童会空調設備整備事業		①マスク着用時における熱中症防止及び臨時休校となった場合の利用時間の増加に対応するため換気機能を有しているエアコンを設置する ②留守家庭児童会空調設備の整備に係る機械器具費 ③冷房エアコン(吸気換気機能付き)@1,247,400円×2台=2,495千円 ④留守家庭児童会	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R2.9	R3.3	2,495			2,495	-	-		「芦別市積算根拠No.28」参照		R2補正(地)	
35	○	単	-	観光消費回復誘客促進業務委託		①緊急事態宣言が解除となり経済活動が再開したものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が収束しないことから、市内宿泊施設の誘客促進及び地元特産品のPRとして実施する観光消費回復誘客促進事業を委託する ②市内宿泊施設利用者に対して宿泊クーポン券5,000円分と特産品1,500円分をプレゼント ③宿泊クーポン券5,000円×1,000枚=5,000千円、特産品1,500円×1,000名=1,500千円、諸費用(印刷費、事務費等)655千円 計7,155千円 ④一般社団法人芦別観光協会	-	-	-	-	-	-	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑨商品券・旅行券	R2.9	R3.3	7,155			7,155	-	-		「芦別市積算根拠No.29」参照		R2補正(地)	
36	○	単	-	芦別温泉星遊館利用促進事業		①緊急事態宣言が解除となり経済活動が再開したものの、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が収束しないことから、12月から翌年2月の賞假期における芦別温泉星遊館の集客を図り観光入込客の増加に繋げる ②芦別温泉の指定管理者と協働した入館料の割引に対する市の負担金 ③割引料100円×5,000円/1か月×3か月=1,500千円 ④芦別温泉星遊館利用者	-	-	-	-	-	-	Ⅲ-1. 観光・運輸業、飲食業、イベント・エンターテインメント事業等に対する支援	⑦いずれも該当しない	R2.9	R3.3	1,500			1,500	-	-				R2補正(地)	
37	○	単	22	指定避難所空調設備整備事業		①災害時の指定避難所である緑地等管理中央センターにおいて空調設備、換気設備の機能が著しく低下し、避難民の受け入れ環境が不十分であることから、エアコン及び高機能換気設備を導入し、新型コロナウイルス感染症の大規模感染リスクを抑える ②エアコン及びロスナイ換気設備整備に係る機械器具費 ③エアコン更新(1階部分(8台分) 室外機1台2,271千円、室内機@707千円×3台=2,121千円、@717千円×2台=1,434千円、@709千円×3台=2,128千円 計7,954千円、2階部分(10台分) 室外機1台2,271千円、室内機@717千円×6台=4,303千円、室外機一台1,723千円、室内機@707千円×2台=1,414千円、@717千円×2台=1,434千円) 計11,145千円 ロスナイ換気扇(1階部分(4台分)換気扇@306千円×1台=306千円、@346,600円×3台=1,040千円 計1,346千円、2階部分(5台分)換気扇@346,600円×2台=693千円、@314,800円×2台=630千円、251,600円×1台=252千円 計1,575千円)、消費税2,202千円 計24,222千円 ④緑地等管理中央センター	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①③密対策	R2.9	R3.3	24,222			24,222	-	-		「芦別市積算根拠No.30」参照		R2補正(地)	
38	○	単	-	修学旅行支援事業		①新型コロナウイルス感染症の影響により修学旅行を中止した際のキャンセル料等や実施した場合の感染防止対策として密を避けるための借上げバスの増車等に伴う追加負担に対する補助 ②キャンセル料等(小学校2校分、中学校2校分)、バス借上料(小学校2校分) ③キャンセル料等(小学校2校分、中学校2校分)1,244千円、バス借上料(小学校2校分)616千円 計1,860千円 ④市内小中学校	-	-	-	-	-	-	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に準備するための環境整備	⑦いずれも該当しない	R2.9	R3.3	1,860			1,860	-	-				R2補正(地)	

No.	確認済み事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付を充当する経費内容 ③経算根拠(対象者・単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	A						参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分				
																	総事業費	B									補助対象外経費			
																		補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他						G		
39		単	35	市民会館・青年センタートイレ改修事業		①新型コロナウイルス感染症対策として、市民会館・青年センターの男女トイレの便器の更新、トイレ手洗器の自動水栓化、トイレ照明の自動化を行う ②男女トイレ便器の更新(15箇所)⇒トイレ便器を非接触型の多機能自動洗浄タイプに取替、併せて個室スペースを拡張する、男女トイレ手洗器の自動水栓化(23箇所)⇒洗面器台手洗器を非接触型の自動水栓に取替、男女トイレ照明の自動化⇒天井及び壁付け蛍光灯をLED照明器に取替し天井センサーにより自動化に係る工事費 ③建築工事費6,512千円、電気設備工事費4,576千円、機械設備工事費17,688千円 計28,776千円 ④市民会館・青年センター	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	②いずれも該当しない	R2.9	R3.3	28,776										R2補正(地)			
40	○	単	22	B&G海洋センター換気設備整備事業		①B&G海洋センタープールの換気扇機能が著しく低下しており十分な換気ができていないことから、新型コロナウイルス感染症対策として、既存の換気扇より能力のある製品に交換する ②B&G海洋センタープールの換気扇取替に係る修繕費用 ③換気扇1台分(換気扇114千円、電動シャッター62千円、消耗品雑材費5千円、作業費124千円、諸経費45千円、消費税35千円 計385千円) ④B&G海洋センタープール	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.9	R3.3	385			385	-	-						R2補正(地)		
41	○	単	22	総合体育館空調設備整備事業		①現在の数護室は、空調・換気設備がなく密の状態となっていることから、新たに換気の良い場所に数護室を整備し室内温度を一定に保つため空調設備を設置する。 ②数護室の空調設備整備費用 ③室外機1台395千円、室内機185,000円×2台=370千円、その他経費535千円、消費税130千円 計1,430千円 ④総合体育館	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.9	R3.3	1,430			1,430	-	-						R2補正(地)		
42	○	単	22	星の降る里百年記念館空調設備整備事業		①新型コロナウイルス感染症予防対策として、マスク着用での来館者が増加しているが、館内の空調機能が著しく低下し、夏場は室温が30度以上になり熱中症者が発生する恐れがあることから空調設備を更新し適切な温度管理を維持する ②館内展示スペース冷暖房機器整備に係る機械器具費 ③館内展示スペース等8基分(ヒートポンプ室外機@1,640千円×3台=4,920千円、室内機@1,100千円×3台=3,300千円、室外機1台1,050千円、室内機@1,100千円×4台=4,400千円、消費税1,367千円 計15,037千円) ④星の降る里百年記念館	-	-	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	①3密対策	R2.9	R3.3	15,037			15,037	-	-						R2補正(地)
43		単	103	GIGAスクール端末導入等事業		①「GIGAスクール構想」を踏まえ、小中学校の児童生徒に1人1台の端末を整備するとともに、ネットワーク環境を整備 ②生徒用タブレット端末603台、教員用タブレット46台、PC教室等整備(ソフトウェア、ファイルサーバー、周辺機器等)、無線ルーター100台、設定手数料603台 ③生徒用タブレット端末22,902千円(3人に1台のうち未整備分単価67,980円(税込)×201台=13,663,980円、3人に2台分について国からの定額補助への上乗せ分上乗せ単価22,980円(税込)×402台=9,237,960円)、教員用タブレット単価82,940円(税込)×46台=3,816千円、PC教室等整備20,766千円(ソフトウェア(小学校)1,756千円、導入費用(機器設置・小学校)1,375千円、運用保守(小学校)2,640千円、普通教室用(小学校)275千円、教育用ファイルサーバー1,563千円、教育用周辺機器5,349千円 その他機器類7,808千円)、無線ルーター(国からの定額補助への上乗せ分上乗せ単価7,600円(税込)×100台)760千円、設定手数料7,650千円 計55,894千円 ④市内小学校2校、中学校2校	-	-	-	-	-	-	-	-	I-8. 学校の臨時休業等を円滑に進めるための環境整備	⑤教育	R2.8	R3.3	55,894			55,894	-	-						R2補正(地)
44		単	-	緊急経営支援金(追加支援分)		①令和2年4月から5月にかけて北海道知事からの休業要請に応じた事業者等に対する追加支援(事業番号4)に係る追加支援 ② i 法人20万円、ii 個人事業主20万円、iii 午後7時以降の酒類提供を自粛した飲食店20万円、iv i～iii以外の飲食店10万円、v その他厳しい経営を余儀なくされている市内事業者10万円 ③内訳(見込) i 法人 件数8×200千円=1,600千円 ii 個人事業主 件数41×200千円=8,200千円 iii 午後7時以降の酒類提供を自粛した飲食店 件数37×200千円=7,400千円 iv 上記以外の飲食店 件数18×100千円=1,800千円 v その他厳しい経営を余儀なくされている市内事業者 件数157×100千円=15,700千円 合計34,700千円 ④市内事業者等	○	○	-	-	-	-	-	-	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	⑦いずれも該当しない	R2.12	R3.3	34,700			34,700	-	-						R2補正(地)

No.	確認済み事業	補助・単独	事例集事例番号	交付対象事業の名称	所管	事業の概要(①②③④を必ず明記) ①目的・効果 ②交付金を充てる経費内容 ③精算根拠(対象数・単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	①休業要請協力金	②事業者への給付金	③事業者への家賃支援	特定事業者等支援	個人を対象とした給付金等	基金	経済対策との関係	交付対象事業の区分 (地域未構想20との該当関係)	事業始期	事業終期	A						参考資料	備考① (地方単独事業に関連している国庫補助事業がある場合、その国庫補助事業名と所管省庁名)	備考② (事業の終期が令和3年3月を超えることが見込まれる場合、その事情)	予算区分	
																	総事業費	B									補助対象外経費
																		補助対象事業費	C 国庫補助額	D 交付対象経費	E 起債予定額	F その他					
45		単	-	水道料金減免による緊急経営支援による負担金(追加支援分(3回目))		①水道事業会計が市内事業者等への緊急経営支援として水道料金の業務用1種、2種及び3種の水道料金を減免することに対する同会計への負担金(事業番号7に係る追加支援) ②水道事業会計に繰り出し、i 業務用1種及び2種の基本料金の半額免除、ii 業務用3種の基本料金の全額免除に係る費用を交付対象経費とする ③参考資料のとおり(業務1種@107,525円×7件=752,675円、業務2種@43,010円×8件=344,080円、業務3種 基本料内@3,795円×240件=910,800円、基本料超過@3,795円×137件=519,915円、半額該当@1,897円×6件=11,382円 計2,538,852円×3か月分=7,617千円) ④市内事業者等	-	-	-	-	-	-	-	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R3.1	R3.3	7,617			7,617	-	-		「芦別市積算根拠NO.37」参照		R2補正(地)	
46		単	-	下水道料金減免による緊急経営支援に伴う繰出金(追加支援分(3回目))		①下水道事業特別会計が市内事業者等への緊急経営支援として下水道料金を減免することに対する同会計への繰出金(事業番号8に係る追加支援) ②下水道事業特別会計に繰り出し、i 水道料金における業務用1種及び2種基本料金の半額免除、ii 水道料金における業務用3種の基本料金の全額免除に要する費用を交付対象経費とする ③参考資料のとおり(業務1種@2,230円×4件=8,920円、業務2種@2,230円×8件=13,380円、業務3種 基本料内@4,460円×136件=606,560円、基本料超過@4,460円×100件=446,000円、半額該当@2,230円×2件=4,460円 計1,079,320円×3か月分=3,238千円) ④市内事業者等	-	-	-	-	-	-	-	-	II-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	R3.1	R3.3	3,238			3,238	-	-		「芦別市積算根拠NO.38」参照		R2補正(地)
47		単	-	議会で中継ライブ配信事業		①議会の中継ライブ配信環境を整備し、傍聴者等による3密回避を図る ②本会議のライブ配信整備費等 ③映像配信設備設置費1式749,980円、議場内機器整備費1式528,000円、書記席機器1式883,080円、AVキャベネット機器1式407,000円、ラウンジテレビ用機器1式63,800円、デジタルビデオカメラ(ユニ-)1台118,800円、SDXCカード1個2,530円、ショルダーバッグ1個5,478円、カメラ三脚1台4,048円 計2,763千円 ④市役所(議場)	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	R2.12	R3.3	2,763			2,763	-	-		「芦別市積算根拠NO.39」参照		R2補正(地)	
48		単	-	除雪作業員詰所設置事業		①冬期間の市道の除排雪業務を行うにあたり、多くの除雪作業員が詰所に待機することになるため、新たに詰所用としてプレハブを設置し、3密回避を図る ②除雪作業員詰所(プレハブ)設置費用 ③120型ハウスリース料1棟1,320円×100日間=132,000円、床断熱カーペット敷き1式99,000円、配達運搬費1式39,820円、ハウス組立費1式16,500円、引取運搬費1式39,820円、ハウス解体費16,500円、FFストーブ23,100円×2台=46,200円、FFストーブ設置・撤去費1式70,510円、その他経費61,050円 計522千円 ④市車両センター	-	-	-	-	-	-	-	II-1. 雇用の維持	R2.11	R3.3	522			522	-	-		「芦別市積算根拠NO.40」参照		R2補正(地)	
49		単	-	救急出動に係る感染防止対策事業		①安定した救急搬送業務を維持するため、救急隊員の感染防止対策を図る ②救急隊員の感染防止対策に必要な備品購入費 ③ペイシメントシールド38,500円×4台=154千円 ④消防署	-	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.11	R3.3	154			154	-	-		「芦別市積算根拠NO.41」参照		R2補正(地)	
50		単	22	避難所換気対策事業		①災害時の避難所における換気対策として扇風機を配置する ②避難所用扇風機の購入 ③ナカミ工場(OPF-45S)@13,750円×20台=275千円 ④市役所	-	-	-	-	-	-	-	I-1. マスク・消毒液等の確保	R2.11	R3.3	275			275	-	-		「芦別市積算根拠NO.42」参照		R2補正(地)	
51		補	-	無線システム普及支援事業補助金	総務	①「北海道スタイル」等の実践を通じた感染リスク低減と社会経済活動に対応するために必要な情報通信基盤を整備する ②光ファイバに係るケーブル敷設費、無線システム普及支援事業費等補助金の地方負担分に充当 ③民設民営一部負担方式(電気通信事業者負担額143,208千円+国142,560千円+市負担額278,263千円=総事業費664,031千円) ④市内	-	-	-	-	-	-	-	IV-3. リモート化等によるデジタルトランスフォーメーションの加速	R2.11	R3.4以降	564,031	427,681	142,560	114,063	164,200	6,858	136,350	「芦別市積算根拠NO.43」参照	光ファイバの整備範囲が広範囲に及ぶこと、加えて、ケーブル敷設延長が243mあり2年度内に工事を終了することが出来ないため	R2補正(国)	